

2026年6月24日

報道関係各位

株式会社JPF

## 《株式会社JPF、“走りの可視化”で松阪市のランナーを支援》

～LEOMOと連携し、みえ松阪マラソンに向けた走りをサポート～

株式会社JPF(本社:東京都千代田区、代表取締役:渡辺俊太郎、以下「JPF」)は、みえ松阪マラソン2026のプラチナパートナーとして大会へ協賛しております。

このたびJPFは、大会への協賛にとどまらず、みえ松阪マラソンに向けた機運醸成および地域スポーツ振興への貢献を目的として、LEOMO社と連携したランニングフォーム測定イベントを2026年6月21日(日)に松阪サイクルトレーニングセンターにて開催いたしました。



JPFは、松阪競輪場の包括運営を受託しており、競輪開催のみならず、子ども向け自転車教室やバンク練習会などの自転車普及事業や各種イベントを通じて、競輪場を地域に開かれた場所として活用する取り組みを進めております。

その一環として開催した本イベントでは、「美し国三重市町対抗駅伝」松阪市チームのメンバーを対象に、LEOMOの測定機器を用いてランニングフォームを科学的に可視化しました。参加者には、自身の走り方の特徴や課題をデータで確認していただくとともに、その結果をもとにした改善指導や再測定を実施。客観的なデータと実践を通じて、自身の走りの変化や成長を体感していただく機会を提供いたしました。

JPFは、こうした取り組みを通じて地域でスポーツに取り組む方々を支援し、スポーツの魅力を広く伝えるとともに、地域のスポーツ振興に貢献してまいります。

### 【当日の様子】

参加者は、LEOMOの測定機器（モーションキャプチャー）を装着し、トレッドミル上でランニングフォームを測定しました。

取得したデータをもとに、モニターで自身の走行映像や数値を確認しながら、専門スタッフから走り方の特徴や改善ポイントについてフィードバックを受けました。膝の動きや足の上げ方、足の回転、フォームの安定性など、一人ひとりの課題を確認したうえで、フォーム改善につながるドリルを実施。その後、再度測定を行い、測定前後の映像やデータを比較することで、フォームや走り方の変化を実感する機会となりました。



測定データを見ながらフォームの特徴を確認



解析結果をもとに改善ドリルを実施



数値を確認しながら走り方を指導



ビフォーアフターを比較し、変化を実感

### 【株式会社JPF 松阪事業所 長尾所長のコメント】

松阪競輪場は競輪だけでなく、地域の皆さまのスポーツ活動を支える拠点としての役割も担いたいと考えています。今回、自転車振興の枠を超え、ランナーの皆さまを支援する取り組みを実施できたことを大変うれしく思います。地域に開かれた競輪場を目指す私たちにとって、競輪場を活用して多くの方にスポーツを楽しんでいただくことは大きな意義があります。今後も競輪場や松阪サイクルトレーニングセンターを活用し、松阪市の自転車振興、スポーツ振興及び地域活性化に貢献してまいります。

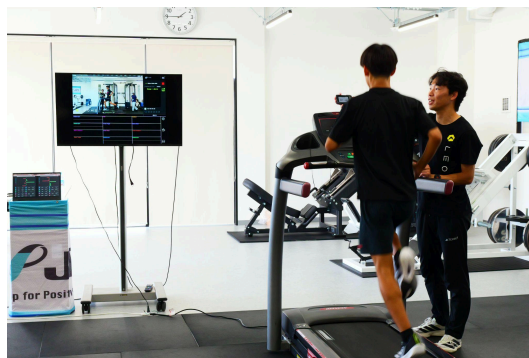
## 【参加者のコメント】



田中 海吏さん（松阪市役所陸上競技部）

みえ松阪マラソン2025 記録：2:26:49

「これまで自分でも課題だと感じていた部分を、今回の測定でデータとして客観的に確認することができました。特に、走っている時の不安定さなど、自分の感覚と測定結果が一致している部分もあり、自分の課題を改めて実感する機会になりました。改善ドリルも実際に体験できたので、今後の練習にも取り入れていきたいです。」



村田 大夢さん（松阪市立中部中学校）

3000mベストタイム：8:59.94

「自分では膝を上げて走れているつもりでしたが、映像やデータで確認すると、思っていたより上がっていないことが分かりました。改善ドリル後は足の動きや回転が変わり、走りやすさも感じました。今回学んだことをこれからの練習や大会に活かし、全国大会標準記録の突破を目指したいです」

## 【LEOMOについて】

最先端の動作解析技術（モーションキャプチャー）を駆使し、アスリートのパフォーマンス向上やケガ予防のためのモーション解析デバイス開発・販売、および解析サービスを提供している企業です。ランニングや自転車競技をはじめとする様々なスポーツにおいて、独自のモーションデータ解析をもとに、競技者のスキルアップやフォーム改善を支援しています。

## 【イベント概要】

開催日：2026年6月21日（日）

会場：松阪競輪場 松阪サイクリングセンター

主催：株式会社JPF

協力：LEOMO,inc、みえ松阪マラソン実行委員会、松阪けいりん

---

### 【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

---

### 【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。

<https://drive.google.com/drive/folders/1uQEZkLTXKrWJHwJW-yUaFAyrmF05Wlr6?usp=sharing>



---

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社JPF

松阪事業所(担当:山田、米永)

TEL:0598-23-6111